

『大船駅前商店街の活気に感謝』 片山智貴

私は生まれた時から大船地区で育ち、幼少のころから買物のために親に大船駅前商店街に連れられてきました。ふと商店街を見ると、私が生まれる随分前からあるお店と新しいお店が並んでいました。古くからあるお店はどっしりと構え、新しいお店はこの地に定着できるように元気を出してお客さんにアピールしていました。お互いを尊重し相乗効果を生み出し発展しているように思えました。

このような大船駅前商店街にとって、近隣に大型のスーパーマーケットなどが出店すると、お客さんの取り合いになり、存続の危機に陥ることになります。しかしながら商店街の皆さんはこれらに負けないように、大きな声でお客さんにアピールするなど絶えず活気あふれる商店街を維持されています。商店街を歩くお客さんは笑顔になり、少し早足で商店街の活気に合わせているようにも見えます。

一方、私は高校受験に向けて商店街の中に

ある塾に通い受験勉強を進めてきました。受験勉強の後半では過去の類似問題を何度も解いたり、暗記したことを反復したりと、同じことの繰り返しで心が折れそうになりました。その時、ライバルに負けないようにできる限りのことを毎日繰り返し返していた活気ある商店街の皆さんのことが脳裏に浮かび、私の状況と重なりました。「私もライバルに負けないように頑張らねば」「継続は力なり」と思うようになり、苦しい受験勉強でしたが商店街の皆さんに背中を押していただいたお陰で、志望校に合格することができました。

大船駅前商店街は買い物客以外にも様々な人にとって、なくてはならない唯一無二の存在だと思います。買い物客の生活を支えるだけでなく、通りすがりの人に元気を与え、受験生の後押しともなる商店街は大船地区の自慢であり、これからも長く活気あふれる商店街を維持してほしいと思いました。